

ユーカフラッフのカーボンフットプリント

スザノのユーカリフラッフは、アメリカのマツフラッフに比べて大気中への炭素排出量が30%少ない

ユーカリ森の
炭素吸収量:

-1630

キログラム二酸化炭素換算値/ユーカフラッフ1トンあたり

キログラム二酸化炭素換算値/ユーカフラッフ1トンあたり、製品に含まれる生物起源炭素の推定。この炭素は森林によって吸収され、セルロースの中に蓄えられたままになっています。なお、この炭素の一部は、埋立や焼却によるセルロースの分解で大気中に戻る可能性があります。

ユーカリの木は7年間にわたって、大気中の二酸化炭素を大量に吸収できます。

ブラジル・サンパウロ州で植林されたユーカリは、持続できる環境と社会への取り組みがなされています。

+46
kg CO₂ eq.

7%

ユーカリ人工林

直接排出量:

(i) 肥料(特に窒素肥料)投入により、および(ii) 森林作業のための軽油の燃焼による

間接排出量:

軽油、肥料、農薬などのライフサイクルインプットから生じたもの

+256
kg CO₂ eq.

40%

パルプ工場

直接排出量:

ボイラーや苛性化工程で燃焼した化石燃料による

間接排出量:

パルプ生産で消費されたライフサイクルインプットから生じたものと購入した電力の排出量による

パルプ工場でのエネルギー・化学物質回収サイクル

+70
kg CO₂ eq.

11%

木材輸送

直接排出量:

木材をパルプ工場や製紙工場に輸送するためのトラック、鉄道、バージでの燃焼した燃料による。

間接排出量:

燃料のライフサイクルから生じたもの。

+272
kg CO₂ eq.

42%

フラッフ機械

直接排出量:

天然ガスや化石燃料を燃やして蒸気を発生させます。間

接排出量:

天然ガスのライフサイクルとフラッフパルプ生産時に消費される投入資源から生じたものです。購入した電力による排出量と、ETAとETEで消費される投入量の比率も考えられます。

直接排出量:

+644

キログラム二酸化炭素換算値/ユーカフラッフ1トンあたり

この値は、米国南東部の松から生産されるマツのフラッフと比較して、温室効果ガス排出量を30%削減したことになります。

最終検討事項:

炭素排出量と生物起源炭素は比較できません。したがって、この製品で提示される生物起源炭素の除去量は、この製品段階での化石起源炭素排出量に加算したり減算したりできません。

ライフサイクルアセスメント (LCA) とは。

LCAとは製品システムのライフサイクルを通しての、インプットやアウトプットおよび潜在的な環境影響の集計と評価です。LCAは原材料の入手から生産・使用・使用後の処理・リサイクルや最終処分まで、製品のライフサイクル全体における環境側面と潜在的な環境影響に取り組みます (ISO 14044)。スザノは環境影響の少ない製品を木の上から開発し、社会の課題解決の一端を担うことを常に考えています。

カーボンフットプリント (CF) とは。

ライフサイクルを通して製品システムから排出される温室効果ガス (GHG) と温室効果ガス吸収量の合計で、二酸化炭素換算値で表されライフサイクルアセスメント (ISO 14067) に基づいています。インフォグラフィックに掲載されている温室効果ガス指標は、ISO 14040およびISO 14044に準拠し、第三者機関 (KPMG) のレビューを受けたスザノが開発したLCA調査から抽出されたものです。

生物起源炭素とは

生物起源炭素とは大気中から吸収され、樹木などの有機物 (化石ではない) に蓄えられた炭素のことです。大気中の二酸化炭素吸収の最も典型的な形態は、光合成中の生体吸収によるものです。



DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

2021年スザノはSBTi (Science Based Targetイニシアティブ) に参加し、1.5シナリオ (最も野心的なシナリオ) に沿った目標を設定する予定です。このような取り組みにより、自社の排出量とバリュー・チェーンの排出量をカバーできます。当社の現在の脱炭素化目標は、SBTであることは特筆すべきことです。



スザノはTransition Pathway Initiative (TPI) によると、セクターの中で最も低い排出原単位目標を掲げています。TPIは、低炭素経済への移行に向けた企業の準備状況を評価し、アセットオーナー主導のグローバルな取り組みです。